

「2006年中国におけるアムール川支流
の生物地球化学過程に関する研究」に
関する契約書

安徽農業大学

大学共同利用機関法人 人間文化研究機構
総合地球環境学研究所

「2006年中国におけるアムール川支流の生物地球化学過程に関する研究」に関する契約書

安徽農業大学

大学共同利用機関法人 人間文化研究機構
総合地球環境学研究所

ここに甲（大学共同利用機関法人 人間文化研究機構長 石井米雄）と乙（安徽農業大学教授 徐小牛）は以下の研究契約を締結する。乙は南開大学の石福臣教授、東北林業大学の胡海清教授、蔡体久教授とも共同して本研究を遂行する。

1. 契約事項

1.1. 「2006年中国におけるアムール川支流の生物地球化学過程に関する研究」と名付けられた研究プロジェクトの実施について甲は支払い義務を、乙は作業義務を負う。

1.2. 乙は下記の項目について責任を負う

- ・ 2006年6月から2007年3月にかけて、(1)松花江支流の凉水地区(伐採流域、非伐採流域)と塔河地区(山火事流域、非山火事流域)における斜面上部、中部、河畔域における深さ別の土壌採取、(2)これらの土壌について水抽出成分の化学分析、(4)各流域における土壌水・地下水観測の技術指導、助言を行う。

1.3 甲は下記の項目について責任を負う：

- ・ 観測方法の決定に責任を持ち、共同で研究を遂行すること。
- ・ 日本人メンバーの中国と日本の移動（税関における関税の支払いを含む）の支払い。
- ・ 1.2に列記した乙の作業に必要な経費の支払い

2. 技術的事項

2.1 1.2および1.3に列記した作業プログラムは、プロジェクトのスケジュールに則って行われる（別紙1参照）

2.2 本契約の履行期間は2006年6月1日から2007年3月15日とする

2.3 甲と乙は、本研究の枠内で得られる成果と観測結果に対し、互いが複写を作成し、双方で同じ情報を共有することとする

2.4 甲と乙は研究契約の結果生み出される成果について等しい権利を有し、安徽農業大学

と総合地球環境科学研究所との間で将来実施される共同研究のために供されるものとする

3. 経費

- 3.1 乙は甲に対し、1.3 に列記した乙の作業に要する経費を本研究契約の締結前に提示するものとする
- 3.2 甲は乙に対し、乙が実行する 1.3 で列記した作業について、別紙 2 に与えられた個々の作業の算出根拠に基づき、総額 500,000 円を支払うものとする
- 3.3 1.3 に参加するアムール・オホーツクプロジェクトの日本人メンバーは、以下の経費について独自に支払うものとする（すなわち、これらの経費は上記の 500,000 円には含まれない）：日本人メンバーの日本ー調査地間の航空・鉄道運賃ならびに宿泊・飲食費
- 3.4 観測地点付近の陸路の輸送は上記の乙に支払われる 500,000 円に含まれ、乙が支払うこととする
- 3.5 甲から乙に対する支払いは以下のように行う
 - ・本研究契約締結直後に総額 500,000 円を支払う
- 3.6 甲から乙に対する経費の支払いは別紙 3 に記した銀行口座を通じて支払われるものとする。

4. 特記事項

- 4.1 乙は 2007 年 3 月 15 日までに最終報告を提出するものとする
- 4.2 2007 年 3 月 15 日の研究契約終了にあたり、乙は 2 部の作業終了報告を提出する。本契約は甲と乙の両者がサインを完了した時点から有効となり、両者が作業終了報告にサインした段階で終了となる
- 4.3 甲が乙の成果を拒絶する正当な理由を有する場合には、事前に改善要求を準備し乙に送付しなければならない

5. その他の事項

- 5.1 甲と乙は野外調査に参加する人員に対し共同で安全に対する責任を負う
- 5.2 火事、地震、火災などの自然災害などにより研究施設の什器、装置、危機に支障が生じた場合は、作業日程と経費は生じた支障の程度に応じて訂正されるものとする
- 5.3 研究契約の実行の過程で購入した装置、道具、および財産は購入した側の所有とする
- 5.4 甲は安徽農業大学ならびにそれに付随する備品の破損や損失に対していかなる責任も負わない。また、甲は観測期間中の甲に所属する人員以外に生じた死傷に対していかなる責任も負わない
- 5.5 乙は観測中または観測活動中、甲の所有する機材に生じる破損や損失に対していかなる責任も負わない

6. 正規連絡先

甲

〒603-8047

日本国京都市北区上賀茂本山 457 番地 4

大学共同利用機関法人 人間文化研究機構

総合地球環境学研究所

電話: +81-75-707-2320

ファックス: +81-75-707-2507

乙

中国安徽省合肥市長江西路 130 号

安徽農業大学

安徽農業大学林学・造園学院

電話 +86-551-2823795-3562

Fax +86-551-2823795-3512

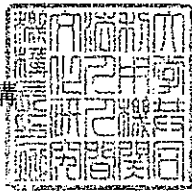
甲

石井米雄、機構長

大学共同利用機関法人 人間文化研究機構

東京、日本

2006年 6 月 5 日



乙

徐 小牛 博士

安徽農業大学林学・造園学院

中国安徽省

2006年 6 月 5 日



この契約書は日本語で2部作成されている

「2006年中国におけるアムール川支流の生物地球化学過程に関する研究」に関する詳細
事項

調査場所:

- 1) 凉水実験流域における森林伐採流域と非伐採流域 (LS 地点)
- 2) 塔河地区における山火事流域と非山火事流域 (TH 地点)

サンプリング項目:

全地点における斜面上部、中部、下部における深さ別の土壌

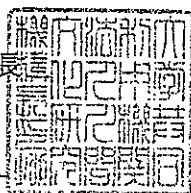
分析項目:

各土壌の水抽出液に含まれる全鉄濃度、二価鉄、三価鉄、溶存有機炭素、陽イオン、陰イオン濃度

データの取り扱い:

乙は本研究で得られたデータのすべてを甲に提出する。これらのデータは甲と乙ならび関連する日中研究者グループ間で共有することとする。これらのデータのすべての著作権は第三者から保護されなくてはならない。

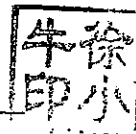
石井 米雄 機構長



2006年 6月 5日

徐 小牛 博士

徐小牛



2006年 6月 5日

別紙 2

「2006年中国におけるアムール川支流の生物地球化学過程に関する研究」に関する予算

内訳書

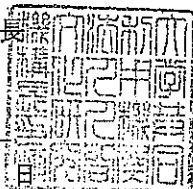
#	地点	費目	内訳	小計(円)
1	LS	旅費	土壌調査・採取	¥160,000
2	LS	消耗品	化学分析の試薬・実験消耗品	¥70,000
3	TH	旅費	土壌調査・採取	¥200,000
4	TH	消耗品	化学分析の試薬・実験消耗品	¥70,000

合計 ¥500,000 円

LS: 凉水実験流域内の森林伐採流域・非伐採流域

TH: 塔河地区の森林火災流域・非火災流域

石井 米雄 機構長



2006年6月5日

徐 小牛 博士

徐小牛



2006年6月5日

総合地球環境学研究所と安徽農業大学との
2006年度契約の経費に関わる合意

「2006年中国におけるアムール川支流の生物地球化学過程に関する共同研究」

大学共同利用機関法人 人間文化研究機構を代表して石井米雄（以下、甲とする）と、安徽農業大学の徐小牛（以下、乙とする）は、本研究契約に関する2006年度経費として500,000円に合意したことをここに証する。

この文書は甲と乙の計算に基づき、支払いの根拠となるものである。

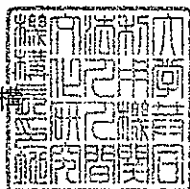
甲

石井米雄、機構長

大学共同利用機関法人 人間文化研究機構

東京、日本

2006年 6月 5日



乙

徐小牛、博士

安徽農業大学林学・造園学院

中国安徽省

2006年6月5日

徐小牛
徐小牛印

Account No.: 148184000099

Bank: Bank of China Anhui Branch

Adress: No.313 Changjiang Middle Road, Hefei, Anhui, China

Swift Code: BKCHCNBJ780

Wang Qin

Anhui Agricultural University

Tel: +86-551-3241275